

〔編集後記〕

今号の人間文化研究所紀要には諸先生方の貴重な研究成果である十五編もの御労作（内訳としてプロジェクト研究二編、共通テーマ研究二編、個人研究十一編）を寄稿していただき、ここに第二十六號刊行の運びとなりました。御投稿をいただきました先生方にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。また人間文化研究所職員の見尾谷女史のご援助にも衷心よりの感謝を申し上げます。

さて、去る三月十一日午後二時過ぎに未曾有の大地震と津波が東北から関東沿岸を襲いました。わが国の歴史上稀に見る大震災で、住まいから親、夫、妻、子ども、仕事場まで、そして心や魂までねこそぎ奪い去られ、その上福島県では原発の放射能汚染で故郷から追われた失意のみならず、心よりお見舞い申し上げます。被災地の教育機関も甚大な被害を被り、大学においても研究活動どころではない状況に放り込まれ、論文を執筆していられる場合ではないと察します。東北や関東を襲った大震災のことはテレビ画面でしか知らないの、なんだか悪い夢を見ているようで現実として実感し難い中、われわれは以前と変わらず研究活動が続けられる喜びに改めて感謝する毎日です。今回の大震災で被災された方々に一刻も早く日常が戻ることをお祈り申し上げます。

（上田恒雄 記）

人間文化：愛知学院大学人間文化研究所紀要 第26號

平成23年9月10日印刷
平成23年9月20日発行

（非売品）

編集兼発行者
愛知学院大学人間文化研究所長 松 菌 齊

〒470-0195
愛知県日進市岩崎町阿良池12番地
電話 0561 (73) 1111 (内線1875番)

印刷所 株式会社 あるむ